

## 第12回定時総会

6月13日(火)、中経連は第12回定時総会を名古屋市内にて開催。約160名が出席するとともに、約40名がオンラインで視聴した。

### 水野会長開会挨拶

世界では、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化などによる地政学リスクの台頭、インフレの進行、各国の利上げと株式・為替市場の不安定化、景気後退への懸念など、不確実性が依然として高い。



日本では、海外経済の減速懸念がある中で、内需中心の景気回復の持続性を評価する年になると考えている。内需の展望を見極める上では、特に人手不足の解消と価格転嫁の浸透が重要になる。

このような状況の下、中経連は2021年6月、中期活動指針「ACTION2025」を策定し、「付加価値の創造」「人財の創造」「魅力あふれる圏域の創造」を目指す活動を進めている。

昨年度は、経済の早期回復を促すための要請、各委員会では、「社会実装・国際標準化推進による持続的な経済発展」「産学連携による人材の育成」「2023年度税制改正に対する意見」などの提言書や要望書を積極的に発信・要請、ナゴヤ イノベーターズ ガレージでは、イノベーター同士の交流を深めるための新たなワンフロア「アネックス」を増設し、起業家のコミュニティ形成支援を強化した。また、「第1回中部圏広域産学官連携協議会」を開催し、広域での産学官連携による地域共通課題への対応について議論、「なでしこの会」では中部圏の住みやすさや働きやすさ、観光の魅力について話し合い、広く発信するイベントを開催するなどの活動を会員の皆様や産学官の関係者とともに、進めることができた。

本年度は「ACTION2025」の中間点となる3年目を迎える。これまで進めてきた産学官・地域間の連携による地域力向上活動を土台にしつつ、地域の活力向上をさらに進めたい。具体的には、リニア中央新幹線開業によるスーパー・メガリージョン

形成を見据えた地域の創生、次世代モビリティをはじめとする産業振興、カーボンニュートラル社会に近づける革新技術の社会実装、イノベーションの活性化など、さまざまな活動に果敢に取り組みたいと考えている。

例えば、イノベーションについては、ナゴヤ イノベーターズ ガレージを中心に、STATION Aiやなどのキャンパスと連携し、新規事業の創出やスタートアップの育成を加速させたい。また、ナディアパークとその周辺エリアがスタートアップ拠点としてだけでなく、地域の活性化に向けて若者が集まるようなまちづくりや賑わいづくりを積極的に取り組みたい。産学連携については、今年7月に「第1回カーボンニュートラル共創シンポジウム」を東海国立大学機構と共催で開催する。資源・エネルギーのない日本における「カーボンニュートラル」や「循環型社会」への転換に向けた課題や多様な方策、研究開発動向などを紹介し、議論を行う。

本年度は、経済・社会の潮流が大きな転換点にあるという強い認識と危機感を持ち、中部圏の経済を一段高い成長軌道に乗せるための「骨太のビジョン」や、その実現に向けた活動について検討を開始する。未来に向けてさらなる成長を遂げるため、一層情熱を傾けていく。

中部圏の持続的な発展に貢献していけるよう、私が先頭に立ち全力で取り組むので、会員の皆様にも引き続き多大なるご支援をお願いしたい。

### 定時総会概要

定時総会の議事では、「2022年度事業報告および附属明細書」「2023年度事業計画書および2023年度収支予算書」について報告を行った。また、「2022年度計算書類等(案)」「理事23名選任」「監事4名選任」「定款の一部変更」について審議し、原案どおり承認された。

議事終了後、水野会長は、本総会をもって退任される、副会長の佐々木眞一氏、竹中裕紀氏、理事の相馬秀次氏、監事の山下孝治氏、鳥居明氏に謝意を表明した。

定時総会に引き続き、第47回理事会、記念講演会、会員交流会を開催した。記念講演会では、国立研究開発法人日本医療研究開発機構 先進的研究開発

戦略センターのプロボスト 古賀淳一氏より「バイオ医薬品にかかわる個人史とグローバル人材の育成に思うところ」と題して講演いただいた。

(9・10月号に講演要旨を掲載予定)



(総務部 伊藤 康隆)

## 新役員体制紹介

(役職名は2023年6月13日時点、敬称略)

<b>会 長</b>	水野 明久	中部電力(株) 相談役
<b>副 会 長</b>	中西 勝則	(株)静岡銀行 取締役会長
	柘植 康英	東海旅客鉄道(株) 取締役相談役
	村瀬 幸雄	(株)十六銀行 代表取締役会長
	安藤 隆司	名古屋鉄道(株) 代表取締役会長
	大島 卓	日本ガイシ(株) 代表取締役会長
	中田 卓也	ヤマハ(株) 取締役 代表執行役社長
	神野 吾郎	(株)サーラコーポレーション 代表取締役社長 兼 グループ代表・CEO
	伊藤 歳恭	(株)百五銀行 取締役会長
	勝野 哲	中部電力(株) 代表取締役会長
	大西 朗	(株)豊田自動織機 代表取締役副会長
	安藤 仁	日本トランスシティ(株) 代表取締役社長 社長執行役員
	碓井 稔	セイコーエプソン(株) 取締役会長
	松下 正樹	(株)八十二銀行 代表取締役頭取 頭取執行役員
	高原 一郎	(株)三菱UFJ銀行 取締役副頭取執行役員
	寺師 茂樹	トヨタ自動車(株) Executive Fellow
青木 武志	イビデン(株) 代表取締役社長	
<b>理 事</b>	松尾 清一	国立大学法人東海国立大学機構 機構長
	中村 宗一郎	国立大学法人信州大学 学長
	平光 範之	日本製鉄(株) 常務執行役員名古屋製鉄所長
<b>監 事</b>	大津 正己	川北電気工業(株) 代表取締役社長
	石川 卓	(株)みずほ銀行 常務執行役員
	本中野 真	エスパシオエンタープライズ(株) 代表取締役社長
	小澤 勝彦	東邦ガス(株) 常務執行役員
<b>事務局役員</b>	増田 義則	専務理事
	宮本 文武	常務理事事務局長
	根本 恵司	常務理事

## 新委員会体制紹介

中経連は、第12回定時総会および総会後の理事会での理事・副会長の選任に伴い、新委員会体制を以下のとおり改めた。今後は12委員会のもと、内外の経済社会などに関する諸問題について調査研究・提言を行うなど、さまざまな活動に取り組むとともに、委員会の活動を通じて会員相互の交流促進を図っていく。

委員会	活動の領域・目的
<b>経済委員会</b> 委員長 高原 一郎	◆経済政策、社会制度、経済法規などに関する調査研究・提言および要望・推進活動の展開 ◆未来に向けて中部圏の経済を一段高い成長軌道に乗せていくための“骨太のビジョン”の策定
<b>税制委員会</b> 委員長 伊藤 歳恭	◆産業育成・振興に資する税制改正や補助制度などに関する調査研究・提言および要望活動の展開
<b>産業・技術委員会</b> 委員長 寺師 茂樹	◆次世代モビリティ(エアモビリティ含む)などの高度化・振興に関する調査研究・提言および要望・推進活動の展開、新たな産業分野の調査研究 ◆産学共同研究フレームの構築に向けた調査研究および推進活動の展開
<b>エネルギー・環境委員会</b> 委員長 勝野 哲	◆脱炭素、サーキュラーエコノミーをはじめ、エネルギー・環境保全に関する調査研究・提言および要望・推進活動の展開
<b>イノベーション委員会</b> 委員長 青木 武志 共同委員長 大島 卓	◆イノベーション力の強化、新産業の創出に向けた調査研究・提言および要望・推進活動の展開 ◆中部圏におけるイノベーション・スタートアップの機能強化
<b>国際委員会</b> 委員長 大島 卓	◆産業のグローバル競争力強化に関する調査研究・提言および推進活動の展開 ◆外国人材の活躍促進、多文化共生社会実現に関する調査研究・提言および推進活動の展開
<b>地域活性化委員会</b> 委員長 村瀬 幸雄 共同委員長 中西 勝則(静岡) 伊藤 歳恭(三重) 松下 正樹(長野)	◆会員・関係機関との連携による地域活性化策の検討 ◆地域を支える産業の活性化や地域づくりに関する調査研究・提言および要望・推進活動の展開
<b>観光委員会</b> 委員長 安藤 隆司	◆観光の振興に関する調査研究・提言および要望・推進活動の展開
<b>社会基盤委員会</b> 委員長 柘植 康英	◆総合的な交通ネットワークの整備に関する調査研究・提言および要望活動の展開
<b>企業防災委員会</b> 委員長 大西 朗 共同委員長 平光 範之	◆企業の防災・減災に関する調査研究・提言および要望・推進活動の展開
<b>物流委員会</b> 委員長 安藤 仁	◆温室効果ガス排出削減や労働力不足への対応に資する物流のあり方に関する調査研究・提言および要望・推進活動の展開
<b>人材育成委員会</b> 委員長 神野 吾郎	◆産業・地域を支える人材育成などに関する調査研究・提言および要望・推進活動の展開